

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2010
平成22年

10.15

目次

「しみんの広場」	2
声の広報たはら	
私の歩み方(山田幸央さん)	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
お知らせ	7
連載コーナー	10

海の彼方へ
飛んで行けそう!





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 声の広報ボランティア……………2ページ
- 私の歩み方(山田幸夫さん)……………3ページ
- 地域の話(泉校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報たはらの録音を25年

『声の広報』ボランティア



視覚障害者のために、広報たはらや議会だよりの録音などを行うボランティア『声の広報』。長年のボランティア活動の功績が称えられ、愛知県ボランティア活動功労者表彰を受賞されましたので紹介します。



▲愛知県知事から手渡された表彰状を手に、「声の広報」代表の鈴木さんが田原市役所を訪問されました。
【受賞歴】田原市社会福祉協議会表彰状(H12年)
愛知県知事感謝状(H13年)
社会福祉法人福寿園感謝状(H16年)

利用者への思いが支えた25年

声の広報のボランティア公募をきっかけに活動を始められたのは、ちょうど25年前のこと。「日ごろから、自分に何かできることはないかと考えていたので、仲間を誘って応募したんですよ」と、代表の鈴木千賀子さん(神戸町)は話されます。当初は4人で始めたこの活動も、現在では会員数13人。録音室での録音のほか、ときには自宅で雑音の入らない深夜に録音することもあるそうです。かなりの時間がかかりますが、視覚障害者の方にも広報の内容を知って欲しいという思いが、その活動を支えています。



声の広報たはら

毎月1日と15日に発行する広報たはらを朗読し、テープに録音したものが「声の広報たはら」です。「利用者の方の聞きやすさを一番に考え、工夫して読んでいます」と鈴木さん。このテープをダビングし、市内の希望する養護盲老人ホームや視覚障害者の方に、市から郵送しています。また、社会福祉協議会でテープの貸し出しも行っています。

※声の広報については、田原市ホームページでもご紹介しています。テープの郵送を希望される視覚障害者の方は、ご連絡ください。

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

心を込めてお読みしていますので、ぜひご活用ください。



▼広報秘書課 ☎22局01388

各分野で活躍する田原市出身の方を不定期でご紹介しています。



山田 幸央さん (谷熊町生まれ)・スイス在住

指揮者、ユーフォニアム・トロンボーン奏者、金管楽器教師

●田原東部小学校・東部中学校を卒業。田原東部小学校4年生のときに、部活動の金管バンド部でユーフォニアムを始める。中学・高校とユーフォニアム奏者を務め、成章高校在学中に米国の高校に年間留学。その後、米国ウィスコンシン大学スティーブンスポイント校で、ユーフォニアムを学ぶ。2001年ドナルド・グリーン奨学金受賞。スイス・チューリヒ芸術大学で、トロンボーンとオーケストラ指揮法を学ぶ。現在、スイスで、指揮者やユーフォニアム・トロンボーン奏者、金管楽器教師として活躍中。

ユーフォニアム奏者から指揮者へ

—子どものころの思い出は？

【山田さん】 2歳下の弟と一緒に遊んだことが、印象に強く残っています。近くの小川でザリガニを捕まえたり、町中いろいろなところにクワガタを捕りに行ったり。家ではプラモデルやビデオゲームで遊んだりしました。家の庭で、友だちと一緒に探検ごっこをすることもありました。自然が多い土地で、元気に育ちましたね。

—音楽の道を歩むことになったきっかけは？

【山田さん】 小学4年生で金管バンド部に入りました。私は夏の水泳が楽しみだったので、最初は水泳もできる陸上部を選びましたが、クラスの男子は全員が陸上部希望。それを見かねた担任の先生に、夏には金管バンド部でも水泳ができるからと勧められたのです。金管バンド部に入部し、演奏したい楽器はホルネットでしたが、顧問の先生に「体が大きいから」とユーフォニアムを勧められ吹き始めました。今考えると、この2人の先生がいなければ、今の私はなかったと思います。

しゅしゅ始めた音楽でしたが、しだいに楽器を演奏する楽しさ、仲間と一緒に曲を演奏する楽しさがどんどん膨れ上がり、中学校、高校時代では私の生きがいになりました。私はこの音楽を愛する気持ちだけで、アメリカ、スイスと渡りながら、この道を歩んできました。演奏する人や聴いてくれる人たちに、音楽のすばらしさや楽しさを分かっていただければ幸せに思います。

—スイスで指揮者として活躍されています

【山田さん】 私は指揮者として、スイスでアマチュアの吹奏楽団を3つ受け持っています。指揮



※
▲4月4日(日)に、所属するスイスの英国式ブラスバンド「トゥルタル・ヒュットリンゲン」の演奏会が田原文化会館で開催されました。田原市吹奏楽団とのコラボレーションもあり、満席の会場からは大きな拍手が送られていました。
※英国式ブラスバンドとは、木管楽器を使わずに金管楽器と打楽器だけで構成するブラスバンドのこと

者という仕事は、コンサートで棒を振るだけではありません。コンサート曲目の選択や、コンサートに向けての工程や練習の準備などの事務的なこと、また楽団員一人ひとりとも接していかなくてはなりません。大変ですが、私にとってはやりがいのある仕事です。演奏の実力はさまざまですが、アマチュアの人たちには「音楽を楽しむ」という団結力があり、私が一番気に入っているところであります。コンサートの最後の曲が終わったあとの達成感は、たまらなくいい気持ちですよ。これが、自分と楽団を次のステップに行かせるモチベーションになっています。

—田原市の皆さんへメッセージを

【山田さん】 田原市は私のかけがえのない故郷で、そこで育ったことを今でも誇りに思っています。田原市で出会った人たちが一緒にがんばった旧友たち、経験してきたことは、今までの私の人生の大切な宝物です。これからも、田原市の伝統や文化を守り、子どもたちが自分の道を見つけ出せるような環境を築いていって欲しいと思います。



▲乗合タクシー八王子線の発車式・10月1日(左:泉校区公共交通利用促進協議会長あいさつ/右:「いずみ号」出発の合図)



地域の話題

泉校区

安心安全で

住みやすいまちづくり

海と山に恵まれ、自然豊かな泉校区から、「より住みやすいまちづくり」について、お便りが届きました。



取り組みの成果を形に

などを実施し、校区住民への意識啓発を目的としたアンケート調査や公共交通の啓発・利用促進なども積極的に行いました。



▲名張市への視察

「宇」

津江町」「江比間町」「八王子町」「村松町」「馬伏町」「伊川津町」「石神町」「夕陽が浜」からなる泉校区(旧泉村)では、まちづくり推進計画に基づき、地域特性を生かしながら、「田原市で一番住みやすい校区」を目指し、まちづくりに取り組んでいます。

交通の利便性向上を目指し

校区の大きな課題に、校区住民やお年寄りが日常生活で利用できる移動手段の確保、公共交通空白地帯(公共交通機関が整備されていない区域)の解消があります。平成21年4月には、校区コミュニティ協議会からなる「泉校区公共交通利用促進協

議会」を設立し、市と協働で地域の実情に合った公共交通のあり方を研究・実践しています。

平成20年度には、ぐるりんバスの実証運行を行いました。路線の運行基準に満たない結果に終わり、多くの課題を残しました。

この経験を生かし、「運行内容の再検証」「有識者を地域に招いての勉強会」「各老人会の意見交換会の開催」「先進地への視察」



▲協議会の様子

これらの取り組みを基に、狭い道路でも運行できる10人乗りジャンボタクシーへの車両変更、福江市街地への運行、渥美病院への直行便(朝1便)の追加などの改善策を打ち出しました。また、前回の利用実績を踏まえ、週7日から5日へ運行日数を減らし、利用者のニーズに合った実施計画案を作成しました。そして、この計画が、市の公共交通のあり方を考える『田原市地域公共交通会議』で認められ、平成22年10月からの6か月間、『八王子線(いずみ号)』として実証運行を行うこととなりました。これからも、地域公共交通の必要性を校区全体で認識し、実証運行の利用促進を図るとともに、まちづくり・地域づくりの機運を盛り上げていきたいと考えています。



市民活動を応援するページ.....

大募集！ 第4回「しみんのひろば」参加団体

「しみんのひろば」は、市内の市民活動団体・ボランティア団体同士の交流の場であり、市民の皆さんに活動を紹介できる機会となり、さらなる市民活動の活性化が期待されます。そこで、「しみんのひろば」に参加していただける市民活動団体などを募集します。

第4回「しみんのひろば」予定

日時 平成23年1月30日(日) 9:00～15:00
会場 田原文化会館(多目的ホール・ロビーほか)
内容 パネル展示、手づくり物品販売・教室など



▲前回の「しみんのひろば」…2月21日(日)

募集の概要

- 応募資格** 主に市内で活動している市民活動団体・ボランティア団体
- 申し込み** 市民活動支援センターおよび市民協働課で配布する申込書に必要事項を記入のうえ郵送・FAX・Eメールにて/申込書は市ホームページからダウンロード可
- 申込期限** 11月1日(日)
- その他** 開催前に2回程度全体会議あり

イベント情報

市民活動ニュース

→このコーナーに掲載する情報を募集中！頁下段の連絡先まで。

日時	イベント名・内容	会場など	問い合わせ・連絡先
11/20(土) 11/27(土) 14:00～15:30	ベビーマッサージ講座 (ベビーマッサージとお母さんのストレス解消法)	20日：田原福祉センター2F 27日：中山市民館 参加料：500円(小学生以下無料)	子どもネイチャー教室 ☎090-5872-2230(川口)
11/21(日) 9:00～10:30	三河湾海岸一斉清掃 (旧田原町の海岸)	集合場所：白谷海浜公園 集合時間：8:30	汐川を美しくする会 ☎090-2131-4352(鈴木)

補助金情報

新規団体・人材養成活動補助金をご利用ください

公益活動に参加する市民のすそ野を広げ、市民参加の担い手づくりを進めることを目的に、今年度から新たに2種類の補助制度がスタートしています。ぜひご利用ください。

- 新規団体活動補助金** 仲間を募って、新たに始めようとする市民公益活動の経費が支援されます。活動初期の取り組みを支援する制度です。
 - 人材養成活動補助金** 市民活動団体の活動を担う人材の知識・技術などの養成経費が支援されます。団体構成員のスキルアップを目的とする支援制度です。
- ※詳しくは市ホームページをご覧ください。
<http://www.city.tahara.aichi.jp/> (トップページ右下「市民協働のまちづくり」のページへ)
- 申請・お問い合わせ** 市民協働課 ☎23局3504 FAX23局0180 ✉kyoudou@city.tahara.aichi.jp



田原市民活動支援センター

市民と市役所で作るページ♥あなたのニュースも募集中!

- 1 NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週金・土・日 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)
 ※利用実績や他市センターの利用状況により、11/2(日)から開設日を(日)・(金)・(土)に変更します。
 - 2 このページに掲載する市民活動情報を募集しています。
- お問い合わせ：☎22局1111(内線812) ※ 開設時間のみ FAX23局0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 27
学校生活の一コマ
を紹介

今回は、子どもたちが自分で栽培した古代米を使ったオリジナル料理に挑戦した様子と、子どもたちの力を伸ばす朝の時間をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

若戸小学校「食育」

古代米を育てオリジナル料理に挑戦！

若戸小学校では、校区の方のご好意で田んぼをお借りして、もち米と古代米(黒米)を栽培しています。古代米の栽培は、5年生が担当しています。田植えをした後、子どもたちは、草取りやジャンボタニシの除去などを行い、稲が実るのを楽しみにしてきました。秋になり、かまで刈り取った古代米を、足踏み式脱穀機で脱穀し精米すると、いよいよ献立を考え、オリジナル料理に挑戦です。

家庭科の時間を使って、手始めに作ったのは『古代米(黒米)の巻き寿司』。スクールアシスタントの方に教えていただき、地鶏の卵や三つ葉、菜の花などを使い、郷土色を生かしたおいしい巻き寿司が完成しました。子どもたちからは、「甘くてモチモチしていておいしい」などの感想が聞かれました。

これからも古代米づくりを通して、食に関する意識を高めてほしいと願っています。

※スクールアシスタント…地域の専門的な知識や技能を持つ人



●秋の収穫を楽しみに田植えをする5年生



●オリジナル料理を見せる子どもたち

清田小学校「さくらタイム」

声を合わせ、力を伸ばす朝の時間



●発声の基礎練習「ぐにゃぐにゃ体操」



●声を響き渡らせ群読をする6年生

清田小学校では、昨年度から1時間目の授業が始まる前に10分間の「さくらタイム」を設けました。この時間を使って、学習の基礎の習熟や群読などに取り組んでいます。

例えば3年生では、2年生で習った九九をカードでもう一度確実に覚えます。また6年生では、山地・山脈名や都道府県名を覚えることもあります。全校で取り組んでいる群読の練習をする際には、みんなで発声の基礎練習を行う時間になっています。朝から大きな声を10分間出し、みんなで息を合わせ群読の練習をすることは、各クラスに活力を与え、学習意欲にも火を付けているようです。

古典落語「じゅげむ」に挑戦している学年もあり、覚えた詩や古典文学を発表し合う群読発表会を、年3回行っています。体育館中に響き渡る子どもたちの声は、さすががしさとともにいつまでも耳に残っています。

子どもたちは、「さくらタイム」で集中することにより、授業にも意欲的に取り組めるようになってきたようです。

▼応募資格 ①次の要件をいずれも満たす方 ②子どもが好きで学校教育に熱心に取り組むことができる方 ③教員免許所持者（採用時に取得見込みの方も可） ▼受付期間 ④随時（市役所執務時間中） ▼申し込み ⑤市販の履歴書に顔写真を貼り、必要事項を記入のうえ直
接または郵送にて
▼学校教育課
〒441-3492 住所不要
☎23局3679 FAX22局3811



田原市立小・中学校
常勤・非常勤講師

募集

WANTED



セメント産業遺跡めぐり
（バス見学）参加者

▼日時 ①11月21日（日）午後1時～4時 ▼場所 ②市内（集合・解散は田原市役所） ▼内容 ③セメント窯や石灰岩採掘場などを見学してセメント産業を学ぶ ▼定員 ④20名（申込者多数の場合は抽選） ▼参加料 ⑤無料 ▼申し込み ⑥11月5日（金）までに電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を明記）
▼文化財課
☎23局3635 FAX22局3811
✉bunkazai@city.tahara.aichi.jp

子育てボランティア講習会
受講者

子どもの体や感覚神経、運動神経の発育、発達を促すリズム遊びについて学びます。
▼対象 ①子育てボランティアおよびボランティア活動に興味のある方
▼日時 ②11月25日（木）午前10時～11時30分 ▼場所 ③童浦市民館
▼定員 ④15名（申込者多数の場合は抽選） ▼受講料 ⑤無料 ▼申し込み ⑥11月12日（金）までに電話または

FAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は、住所・氏名・電話番号を明記） ▼運営 ②子ども心と体プロジェクト実行委員会
▼生涯学習課
☎23局3531 FAX22局3811
✉syogaku@city.tahara.aichi.jp

パソコン教室 受講者

▼対象 ①市内在住・在勤者（児童・生徒・学生は除く） ▼開催日・コース ②表のとおり ▼開催時間 ③いずれも午後7時30分～10時 ▼開催場所 ④渥美文化会館視聴覚室（旧中央公民館） ▼講師 ⑤渥美パソコン研究会会員 ▼定員 ⑥各コース18名（申込者多数の場合は抽選） ▼受講料 ⑦無料（ただし

パソコン教室

開催日	コース
11/16(火)・11/17(水) 11/18(木)・11/19(金)	初心者
11/23(火・祝)・11/24(水)	文書処理 (ワード)
11/25(木)・11/26(金)	表計算 (エクセル)
11/30(火)・12/1(水)	年賀状作成

「武将のふるさと愛知」
スタンプラリー 参加者

し、テキスト代など実費負担あり）
▼申し込み ①11月5日（金）までに電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は住所・氏名・電話番号・生年月日・コース名を明記）
▼生涯学習課
☎23局3531 FAX22局3811
✉syogaku@city.tahara.aichi.jp

信長・秀吉・家康の三英傑などのゆかりの施設を巡るスタンプラリーへ、ぜひご参加ください。
▼期間 ①12月5日（日）まで ▼参加方法 ②スタンプラリー用紙を愛知県内の武将史跡（田原市博物館など）で入手、またはホームページからダウンロードし、各施設のスタンプを集め、郵送で応募してください。スタンプの数に応じた賞品を抽選でお送りします。 ▼参加料 ③無料（交通費などは自己負担） ▼その他 ④詳しくは、ホームページをご覧ください。
▼武将のふるさと愛知キャンペーン事務局
☎0120(583)839
HP <http://www.sengoku-aichi.jp>
▼愛知県観光コンベンション課
☎052(954)6355

愛犬と一緒に参加しませんか 「犬のしつけ方教室」

▼日時 11月13日(土) 午前10時～正午
▼場所 2サンテパルクたはら
▼参加条件 犬の登録と狂犬病予防注射・混合ワクチン接種を実施済みで、その犬を制御できること。

▼内容 基本的なしつけの方法を、愛知県動物保護管理センター職員が教えます。 ▼参加料 無料 ▼定員 5名(申込者多数の場合は抽選)
▼申し込み 11月5日(金)までに電話にて/祝祭日を除く平日午前10時～午後5時 ▼その他 申し込みの際、愛犬手帳、ワクチン接種証明書をご用意ください。
▼愛知県動物保護管理センター 東三河支所
☎(0532)33局3777

生活

ぐるりんバス西部線を 11月に路線変更

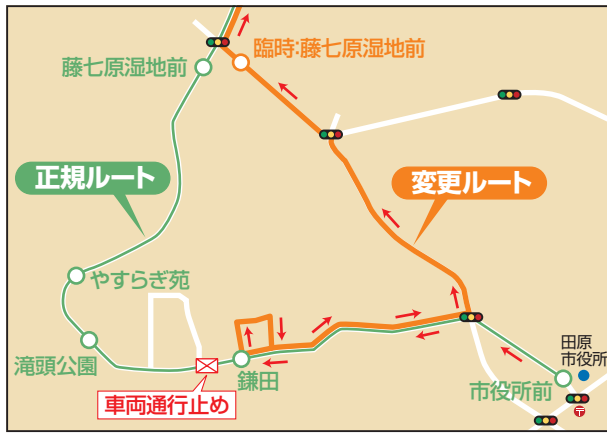
衣笠校区内で下水道工事における交通規制のため、ぐるりんバス運行経路が変更となります。ご迷惑をお

かけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

●変更路線・停留所など

▼路線 2西部線 ▼停留しないバス停 滝頭公園、やすらぎ苑 ▼位置を変更するバス停 藤七原湿地前
▼ルート変更予定期間 11月中(1か月間)

▼市民協働課
☎23局3504 FAX23局0180



インフルエンザワクチン接種 の費用を助成

毎年冬のはじめから春先にかけて流行するインフルエンザのワクチン接種が10月から始まりまし

のインフルエンザワクチンは、新
型と季節性が混合
されたワクチンで
す。このインフル
エンザワクチンの
接種にかかる費用
を助成します。



▼対象 ①生活保護世帯の方 ②平成22年度市民税非課税世帯の方 ▼接種場所 市内指定医療機関 ▼接種期間 10月1日～平成23年3月31日

▼申請期間 平成23年3月31日まで
▼申請方法 ①市から郵送された書類(確認書)を医療機関に提出してください。申請する必要はありません。②市役所・あつみライフランド内の健康課で確認書を発行します。で、接種前にいずれかの窓口で申請してください。なお接種後に、領収書および接種済証をご持参いただき申請することもできます。 ▼その他 高齢者インフルエンザ予防接種の対象の方は、申請方法などが異なる場合があります。個別に通知した予診票を、ご確認ください。詳しくは、お問い合わせください。

▼健康課(市役所内)

☎23局3515 FAX23局3810

▼健康課(あつみライフランド)

☎33局0386 FAX33局0319

日本脳炎予防接種を公費で 接種できる対象が拡大

日本脳炎予防接種の接種機会を逃した方への対応などについて、次のとおり改正されました。

◆改正内容

■第1期の接種が終わっていない方に対し、当分の間、第2期の期間(9歳以上13歳未満)にも接種できるようにになりました。

■乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン(新ワクチン)が、第2期予防接種でも接種できるようになりました。

※9歳から13歳未満のお子さんで、第1期または第2期の予防接種が終わっていない方は、無料で接種を受けることができます。希望される方はお申し込みください。

詳しくは、お問い合わせください。



▼健康課(市役所内)

☎23局3515 FAX23局3810

▼健康課(あつみライフランド)

☎33局0386 FAX33局0319

放置自転車クリーンキャンペーン
11月1日～30日

自転車を放置しておくと、街の景観が損なわれるだけでなく、事故や防災の面でも問題になります。自転車置き場を利用し、放置自転車をなくしましょう。また、自転車置き場に長期間放置されている自転車も多数あります。不要になった自転車は、所有者が責任を持って処分し、自転車置き場を有効利用できるようにしましょう。



キャンペーン期間中には、市内の駅周辺の放置自転車を整理し撤去します。放置自転車の減少に、ご理解とご協力をお願いします。

▼市民協働課
☎23局3504 FAX23局0180

社会保険料(国民年金保険料)控除証明書が発行

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において、金額が社会保険料控除の対象となります。この社会保険料控除を受けるために必要な「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が、日本年金機構から

送付されます。1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方には10月下旬から11月上旬に、10月1日から12月31日までの間に今年初めて国民年金保険料を納付された方には、来年の1月下旬に送付されます。

年末調整や確定申告の際には、この控除証明書または領収書が必要です。ので、大切に保管してください。

▼保険年金課
☎23局2149 FAX23局0180

▼豊橋年金事務所
☎(0532)33局4118
FAX(0532)33局3411

フェリー鳥羽伊良湖航路利用で施設利用料の割引を継続



フェリー利用の方へ社会教育施設などの利用料割引を継続して行います。利用当日を含む2日間に限り、乗船券の半券(領収書)を提示すると割引などが受けられます。詳しくは、田原市観光協会ホームページをご覧ください。

▼田原市観光協会(商工観光課内)
☎23局3516 FAX22局3817

http://www.taharakankou.gr.jp/

地域とともに生きる矯正施設「豊橋矯正展」

矯正展は、法務省の「社会を明るくする運動」の一環として、皆さんに広く矯正行政に対する理解を深めていただくことを目的に開催しています。お気軽にお越しください。

▼日時 11月13日(土) 午前10時～午後4時
▼場所 豊橋刑務支所構内(豊橋市今橋町15番地/豊橋公園東側)
▼内容 施設見学会、刑務所作業製品展示即売、刑務作業体験コーナー(七宝焼、組紐、ステンドグラスの製作)、チビツ子刑務官撮

影会など。※この他にも、多数イベントあり。雨天の場合、イベントの一部を中止することがあります。

▼その他 豊橋刑務支所には駐車できません。臨時駐車場である豊橋市役所職員駐車場および同市上下水道局駐車場の指定された場所をご利用下さい。

▼豊橋刑務支所処遇部門第二
☎(0532)53局5916

全国消防操法大会(蒲郡大会)

全国の消防団が、日ごろ鍛えた消火技術を披露するこの大会は「消防

団の甲子園」とも呼ばれ、熱気あふれる競技が繰り広げられます。迫力ある消防団の勇姿をご覧ください。

また、隣接スペースにおいて、消防団員が作る特産品の即売、地震体験車の試乗や救命講習などが行われます。この機会に、楽しく防災知識を学んでみませんか。

▼日時 11月12日(金) 午前9時～午後4時
▼場所 蒲郡ポートレーズ場駐車場(JR蒲郡駅からシャトルバス運行)

▼愛知県消防保安課
☎(052)954局6195

11/14(日) 自主防災会の一斉防災訓練を行います

市内各地区において、自主防災会による一斉防災訓練を行います。この機会に、非常持出袋の中身をチェックするなど災害に備えましょう。

【時間】 午前7時～9時
※地区によって異なる場合があります

【場所】 各地区の集会所や避難場所など
※雨天でも実施します



▶防災対策課
☎23局3548

広がる未来へ

●菜の花エコプロジェクト

市では、個々の農家では対応が困難である遊休農地の解消や優良農地の保全、農村景観整備を通じて、資源循環型社会の実現を図るため「菜の花エコプロジェクト」に取り組んでいます。

今秋、NPO法人田原菜の花エコネットワークと連携し、市内の幼稚園2園・保育園10園・小学校2校・中学校1校で菜の花の種まき体験を実施しています。体験中は汗をかきながらも、子どもたちは笑顔がいっぱい。その笑顔に後押しされ、菜の花エコプロジェクトの活動が着実に推進されています。



この体験を通じ、子どもたちが自分たちの住む地域を学び、全国有数の農業産出額を誇る市の農業に魅力を感じてくれることを期待しています。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人996人・事業所55か所(9月末現在)

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

54

●地球温暖化防止啓発ポスター入選作品

●小学校低学年の部

今原碧緒生くん(高松小学校)



●中学校の部

木戸麻湖さん(伊良湖岬中学校)



●中学校の部

榎原彩加さん(泉中学校)



※平成22年3月現在の学校名です

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



省資源とリサイクル

ごみ減量には、まずごみを出さない工夫が大切です。今回は、家庭から出る生ごみを減らす「生ごみ処理機」をご紹介します。

生ごみ処理機の特徴は?

●生ごみ処理機のメリット

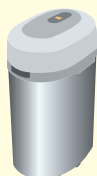
- 生ごみの減量ができる
- その日のうちに生ごみを処理でき、衛生的
- 生ごみからできた堆肥を家庭菜園などで利用できる

●種類と特徴

●生ごみ処理容器(コンポスト)
自然の力で分解し、堆肥にする。日当たりがよく、風通しのよい屋外などに設置。

●電気生ごみ処理機

- ①乾燥式 熱風などで乾燥させ粉砕したもの、土に混ぜて堆肥にする。主に、屋内に設置。
- ②バイオ式 バイオ剤を生ごみに混ぜ、微生物の力で発酵分解し、堆肥にする。ペランダや軒下などの屋外に設置。



補助金制度はあるの?

市では、生ごみ処理機の購入に対し、補助を行っています。

生ごみ処理容器等設置事業補助金

種別	補助額など
生ごみ処理容器	購入額の1/2 限度額3,000円/基 ※1世帯2基まで
電気生ごみ処理機	購入額の1/2 限度額1万円/台 ※1世帯1台まで

※詳しくはお問い合わせください。

※生活スタイルに合った生ごみ処理機を選んで、リサイクルを始めてみてはいかがでしょうか。

清掃管理課

☎23局655008

FAX23局01800



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

30

交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎23局3507

友好都市 長野県宮田村の“美味”はいかがですか？

りんごの木オーナー制度や物産展の相互出展など、交流が続いている宮田村からお便りが届きました。

◎自慢の名物どんぶり『紫輝彩井』

長野県の駒ヶ根エリアでは、ソースカツ丼が有名ですが、宮田村では『紫輝彩井』を売り出しています。中央アルプス山麓、宮田村の栽培農家が丹精こめて作ったぶどう(ヤマソービニオン種)を醸造した「信州みやだワイン紫輝」を使って、宮田村内9店舗で9種類



▲紫輝彩井のイメージ写真

の紫輝彩井を販売しています。宮田村を訪れた際には、ぜひご賞味ください。

また、宮田村では、この名物どんぶりを盛り上げるイメージキャラクター

「どんぶり戦隊どんぶりレンジャー」が人気を集めています。紫輝彩井を食べていると、もしかしたら彼らに出会えるかもしれませんね。



▲昨年、田原市民まつりに登場した、どんぶりレンジャー

◎田原市民まつりに出展します

10月24日(日)に開催される「第8回田原市民まつり」に宮田村物産展を出展します。甘い蜜の入ったりんごやジャム、ジュースなどを販売します。また、ステージでは今年もどんぶりレンジャーの勇姿がお楽しみいただけます。皆さん、友好都市宮田村を身近に感じに、ぜひ遊びに来てください。



▲おいしいですよ！

◆家具などの転倒防止の重要性

巨大地震が発生し、大きな家具

の約8割が、家具などの転倒や落下、割れたガラスや食器類によるものでした。

◆ケガの原因のおよそ8割

阪神・淡路大震災でのケガの原因の約8割が、家具などの転倒や落下、割れたガラスや食器類によるものでした。



家具や電化製品が凶器となり、あなたを襲います。

◆家具や電化製品が凶器に

皆さん、家の中を見回してみてください。どのような家具や電化製品がありますか。もしも今、巨大地震が起きたら、身の回りの家具や電化製品が凶器となり、あなたを襲います。

かんちゃん

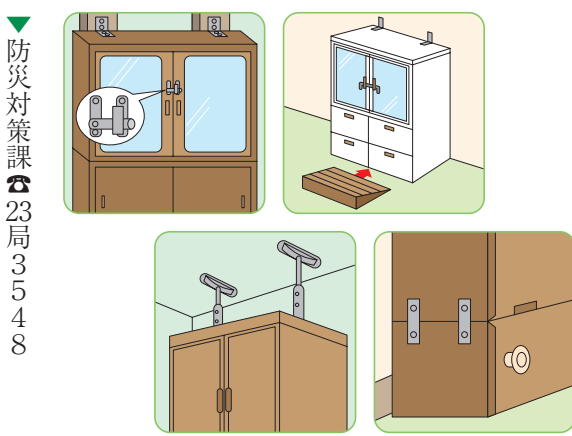
防災まめ知識

65



家具や電化製品の転倒による被害を防ごう

や電化製品の下敷きになれば命にかかわります。また、大きな家具が廊下や避難路をふさいだり、床に割れたガラスなどが散乱したりすると、歩行の妨げになって火災などから逃げ遅れてしまう危険性もあります。普段の生活に必要な家具や電化製品が凶器にならないように、転倒防止や飛散防止対策に取り組みましょう。



▼防災対策課 ☎23局3548

歴史探訪

クラブ!

其の 115

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

ふたたび懐かしもの

保美町にあった昭和初期の煙突が、9月に惜しまれつつ壊されました。この高い煙突は、地域の人のランドマークとして親しまれてきました。製糸工場の煙突で、28メートルの高さがありました。当時のランドマークというより、産業振興の象徴でもあったと思われまます。

これまで、このような人工的な建造物、特に公害のイメージが強い工場のは、あまり好まれません。むしろマイナスイメージすら



▲製糸工場の煙突(保美町/昭和16年)

あったかもしれません。しかし、人々の生活に溶け込んだこれらの「モノ」は、地域の近代化に貢献した遺産として、注目を浴びているのです。

これらの建造物は、高名な建築家がデザインしたのではなく、豪華な大理石で作られたものでもありません。むしろ、レンガやコンクリートなど、現在でいえば、あまり仕上げ材料としては高級なもので作られたわけではありません。しかし現代建築では、これらの素朴な質感をデ

ザインとして取り入れ、素晴らしい建築物が作られています。

昭和30〜50年代には、戦前の建造物がどんどん壊され、新しくされていきました。それは構造的な問題もありましたが、新しいものが良いという感覚があったからかもしれません。昭和28年、海岸の施設などが、13号台風でことごとく被害を受けました。残っているものは、建築物を除けば、主なものとしてセメント窯(明治)や伊良湖岬灯台(昭和4年)などがあげられます。そのほか、小規模なものも含めると、どれだけ残っているのかは分かりません。

和地町にある鉄砲橋は、その残っている数少ないものの一つでしょう。欄干が低い目立ちませんが、なかなか凝ったデザインをしています。表面は洗い出し加工がされ、細かな石で覆われています。東側の南面には「鉄砲橋」、同じく西側には「昭和五年七月架設」と陶板に記されています。コンクリート造りの橋は、損傷や表面の風化が激しく、当時の姿と履歴を読み取れるものは貴重です。また、デザインだけでなく、構



▲鉄砲橋(和地町)

造にも注目しなければなりません。まだまだ、皆さんの近くにこれらの遺産は埋もれています。ぜひ発見してみてくださいか。

※近代化遺産の定義は、近代化に貢献した土木や建築、交通、産業などに関わる建造物や施設のこと。

(増山)

今月の「表紙」

▼目の前に広がる伊良湖水道の大パノラマ。上空には、伊勢・志摩方面を目指し、羽ばたいて行くサシバの群れが。なかなか見られないこの眺めは、伊勢湾海上交通センターからの風景です。この施設では、5月と10月に一般公開が行われていますので、足を運んでみてはいかがでしょうか。(O)

【表紙の写真】伊勢湾海上交通センターからの眺望